

● 「さっぽろ未来創生プラン（案）」に対するパブリックコメントの実施について

札幌市では、人口の将来展望や、今後5カ年の基本目標、施策等を示す「さっぽろ未来創生プラン」の案に対するパブリックコメントを実施します。

「さっぽろ未来創生プラン」を市民の皆さんと共有できるものとするために、多くの意見が寄せられることを期待しています。

1 「さっぽろ未来創生プラン（案）」について

2060 年までの札幌市の人口の将来展望や目指すべき将来の方向性を示す「人口ビジョン編」と今後 5 年間の基本目標や施策等を示す「総合戦略編」の 2 編構成。

(1) 策定の背景

札幌市は、ここ数年のうちに人口減少が始まると見込まれており、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」（平成 25～34 年度）に示した「人口減少の緩和」の方向性を具現化するため、国の動向も踏まえて、札幌市の人口の将来展望や、今後 5 カ年の基本目標、施策等を示す新たな計画として策定した。

(2) 計画の位置付け

平成 25 年に策定された「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を上位計画とし、その基本的な方向性に沿って策定される個別計画と位置付ける。

2 「さっぽろ未来創生プラン（案）」の概要について（詳細別紙）

(1) 「人口ビジョン編」

① 札幌市の人口について

ア 将来人口の推計：平成 22 年の 191 万人から、平成 72 年には 143 万人まで減少

イ 人口動態の考察

(ア) 自然動態：札幌市の平成 25 年度の合計特殊出生率は 1.14（都道府県で最も低い東京都は 1.13）で全国的に見ても低位にある。出生率が低い原因は高い未婚率や夫婦間の出産数の少なさによるものと考えられる。

(イ) 社会動態：道内からは転入超過である一方、道外へは転出超過となっている。特に 20 歳代若年層の転出超過規模が大きい。

② 目指すべき札幌の将来

「結婚や出産を望む市民の希望がかなえられる社会の実現」

「地域に定着できる環境づくり」

(2) 「総合戦略編」

① 基本目標の設定と施策の柱

ア **基本目標 1 安定した雇用を生み出す**

【施策の柱】

- ・札幌市産業の競争力強化【分野別】
- ・札幌市産業を支える基盤づくり【業種横断的】
- ・地域が必要とする人材の育成・定着

イ **基本目標 2 結婚・出産・子育てを支える環境づくり**

【施策の柱】

- ・結婚・出産・子育ての切れ目のない支援
- ・子供への支援の充実
- ・子育てを支える社会の形成

※施策の柱ごとに KPI（重要業績評価指標）を設定

② 数値目標

指標	現状値	目標値	
合計特殊出生率	1.14 (平成 25 年)	1.36 (平成 31 年)	平成 42 年(2030 年)までに 市民の希望出生率である 「1.5」を目指す
20～29 歳の道外 への転出超過数	2,637 人 (平成 26 年)	1,300 人 (平成 31 年)	10 年後(平成 36 年(2024 年))に転出超過数「0 人」 を目指す

③ 未来創生アクション

基本目標に位置付けた個々の施策を分野横断的な視点で意識し、効果的に取り組むため、5つのテーマ（グローバル展開、まちの魅力アップ、若者の希望実現、安心子育て、人材の育成）を設定し、特に関連性のある施策を「未来創生アクション」として提示。これを推進することで、「さっぽろ」の魅力を一層高めていく。

3 パブリックコメントの実施について

(1) 募集期間

平成 27 年 11 月 26 日（木）～12 月 25 日（金）（必着）

(2) 資料配布場所

市長政策室政策企画部企画課（市本庁舎 10 階）、市政刊行物コーナー（市本庁舎 2 階）、各区役所総務企画課および各まちづくりセンター。市公式ホームページ（<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/miraisousei/miraisousei.html>）でも公開。

(3) 応募方法

「さっぽろ未来創生プラン（案）」に添付されている意見用紙に必要事項記入の上、政策企画部企画課（〒060-861 中央区北 1 条西 2 丁目、ファクス：218-5109、Eメール：miraisousei@city.sapporo.jp）に送付または持参。ホームページからの応募も可。

(4) 公表予定

同プランは寄せられた意見の概要とそれに対する市の考え方とともに、平成 28 年 1 月下旬にホームページなどで公表予定。

問い合わせ先

市長政策室政策企画部企画課企画係 黒澤、大森、阿部、石山

電話：211-2192